

TV会議を活用した「新しいコミュニケーション」によるまちづくり (富山県南砺市)

〔概要〕

ICTの進化に伴い、身近なものになってきたTV会議システムについて、産業、医療、福祉の各分野に適した、使い易くて安価で安心・安全な3つのTV会議システムを整備・活用し、円滑で効率的なビジネス会議をはじめ、遠隔医療、遠隔デイケア、地域や遠方親族による見守り、防災情報の共有などを促進し、企業と企業、企業と人、人と医療、人と安全を繋ぎ、人が集い、支え合う「新しいコミュニケーション」を形成する「まちづくり」に取り組んでいます。

〔コラム〕

南砺市は、人口の減少・少子高齢化が進展する中、面積の約8割を山林が占め居住地域が分散しているほか、豪雪地域も多いことから、市民の移動や交流、生活、経済等の様々な活動に課題を抱えています。

一方、市内全域に、CATVのブロードバンドネットワーク網が整備されていることから、近年、急速に普及が進む「TV会議システム」を活用し、人・モノ・情報の発信・交流を促進することで、産業の振興や住民サービス・福祉の向上、地域コミュニティの形成を図るなど、自然・文化・交流が織りなす「住み良い元気なふれあいのまちづくり」を推進するため、次の3つの施策に取り組んでいます。

(1) TV会議を活用した産業の振興

既存のパソコンとインターネット環境があれば、直接対面と同様の打合せや情報

の共有など、企業活動等に必要な業務環境を安価に提供できる「対面型オフィス間連携システム『TAIMEN』」を整備し、市内企業等と海外・大都市圏の企業等を結び、基盤の強化や生産効率の向上など地域産業の振興と若者等の定住の促進を図っています。

(2) TV会議を活用した遠隔コンサルテーションによる医療サービスの充実

南砺市医療情報ネットワークと電子カルテシステムを基盤に、TV会議を組合

わせた「遠隔医療コンサルテーションシステム」を整備し、南砺市民病院の小児科・産婦人科等の専門医が、山間へき地にある診療所の総合診療医による診察をサポートするなど、専門医不足の解消と住民への医療サービス等の向上を図っています。

(3) TV会議を活用した地域ぐるみの高齢者の生活支援体制づくり

少子高齢化の著しい集落の高齢者独居世帯を中心に、地域住民のコミュニケーション不足や生活不安を解消するため、高齢者にも使い易い「そくさいネット『ふれ

